

## 第2回 レクチン利用技術研究会・ワークショップ

日時：12月5日（月）13：00～17：35、交流会 18：00～  
場所：東京大学 伊藤国際学術研究センター  
（住所：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1）  
主催：レクチン利用技術研究会  
共催：TIA/TIA連携プログラム探索推進事業「かけはし」  
後援：一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会  
参加費：無料

### プログラム

（進行：産業技術総合研究所 後藤雅式）

13：00～13：05 ●主催者挨拶  
東京大学 山本 一夫

13：05～13：35（30分） ●講演1  
「糖鎖プローブとしてのレクチン：認知症の糖鎖マーカーの検出」  
福島県立医科大学 橋本 康弘

13：35～14：05（30分） ●講演2  
「レクチン阻害をメカニズムとする治療薬の開発」  
SBIファーマ 中島 元夫

14：05～14：35（30分） ●講演3  
「ポスト抗体医薬としてのレクチン創薬  
：レクチンを薬剤キャリアーとして生体に投与する新規抗癌治療開発」  
筑波大学 小田 竜也

14：35～15：05（30分） ●講演4  
「筋ジストロフィー原因糖転移酵素のレクチン活性」  
高エネルギー加速器研究機構 加藤 龍一

### 休憩（30分）

15：35～16：05（30分） ●講演5  
「ミルレクチンの特性と口腔ケア製剤への利用」  
株式会社医学生物学研究所 今村 幸治

16：05～16：35（30分） ●講演6  
「予想もできなかった糖鎖認識の巧妙さ：バイセクト糖鎖結合レクチンを中心に」  
理化学研究所 山口 芳樹

16：35～17：05（30分） ●講演7  
「GAG鎖特異的な改変マメ科レクチンの創出」  
東京大学 山本 一夫

17：05～17：35（30分） ●総合討論  
「活動報告」  
産業技術総合研究所 舘野 浩章、平林 淳

☆ 交流会（18：00～）5千円  
（場所：イタリアンカポペリカーノ  
東大医学部教育研究棟13階）



参加を希望される方は、所属、名前、連絡先（メールアドレス）、交流会の参加の有無を下記の連絡先までメールにてご連絡ください。なお、お預かりしました個人情報には本研究会に関わる目的のみに使用し、他の目的への使用、第三者への提供は致しません。

連絡先：レクチン利用技術研究会事務局（lectin\_ml@aist.go.jp）

（件名は、[レクチン利用技術研究会参加申込]として下さい）

締切：11月18日（金曜日）

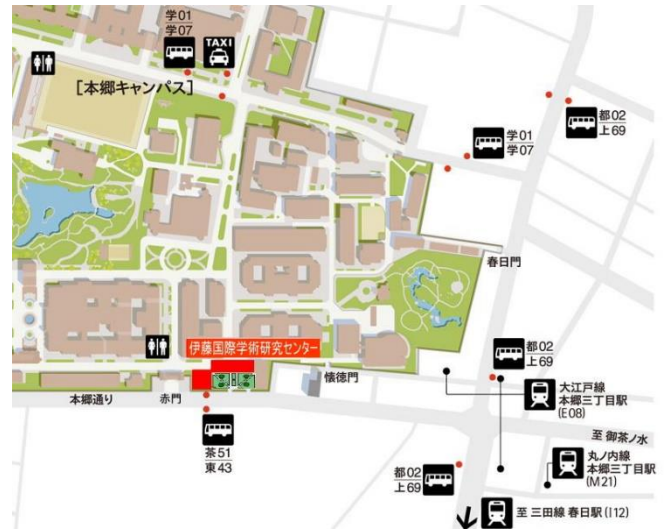
#### 会場アクセス：電車のご案内

本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線） 徒歩 8 分

本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線） 徒歩 6 分

湯島駅または根津駅（地下鉄千代田線） 徒歩 15 分

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/index.html>



\*\*\*\*\*

## <レクチン利用技術研究会—設立趣旨>

レクチンは糖に結合するタンパク質の総称で、1888年に Stillmark によってヒマ種子から最初に発見されて以来、多くの生物から見つかっています。レクチンは古くから糖鎖解析のための試薬として用いられてきましたが、一般に特異性が低いというイメージがもたれ、残念ながら抗体の代替品程度の感覚で用いられてきたのが実情です。しかし近年、レクチンの基礎・応用両面で急展開を見せ、糖鎖を標的とした場合、レクチンには抗体を凌ぐ潜在能力がある事例も示されつつあります。またこれまでの研究経緯から、レクチンは赤血球凝集活性を持ち、細胞毒性が高いという印象が強く持たれています。しかしこれは古典的なレクチンに対する固定観念であり、実際にはそれぞれのレクチンの性質や機能は多種多様です。近年、技術的には数多くのレクチンの組み換え体化や糖鎖プロファイリングへの応用が進み、また再生医療や診断薬への応用開発が注目されています。こうしたレクチン利用技術はこれまで日本が世界をリードして開発してきたものであり、日本が誇るべき学問領域です。今回 TIA 連携プログラムへの採択を契機に、レクチンの普及化を理念として掲げ、レクチンの学術的・産業的発展を目的として、本研究会を発足するに至りました。本研究会では、勉強会やワークショップ等の開催を通して皆様のレクチン研究の推進に貢献できるよう努めて参ります。ご支援ご協力の程、何卒宜しく申し上げます。

#### <発起人>

舘野浩章(産業技術総合研究所)

平林淳(産業技術総合研究所)

山本一夫(東京大学)

大河内信弘(筑波大学)

小田竜也(筑波大学)

加藤龍一(高エネルギー加速器研究機構)

荏原充宏(物質・材料研究機構)

